

最新機器と伝統技術の融合で難課題を解決 自社製治具によるコスト削減、納期短縮

長年にわたり主に自動車産業向けの試作鋳金や部品製作を手掛け、高度なノウハウと経験を有している。3次元レーザー加工機を関西で初めて導入し、顧客ニーズに応じた金属、木材、樹脂など各種素材の加工を実施。先端技術の積極的な導入によるデジタル技術と創業以来の職人技によるアナログ技術の融合によって、他社では不可能な難度の高い加工案件に対応し、顧客からの信頼を獲得している。

- | | | | |
|----------|---|--------|---------|
| ● 所在地 | 京都府京田辺市大住池ノ端6-1 | ● 設立 | 1962年 |
| ● 電話／FAX | 0774-63-1364 / 0774-63-4329 | ● 資本金 | 1,000万円 |
| ● URL | http://www.hiro32.co.jp/ | ● 従業員数 | 24人 |
| ● 代表者 | 代表取締役社長 有友 廣充 | | |



3Dスキャナー導入による精緻な加工を実現

3DスキャナーとITの導入により、データと完成した製品との極小な誤差を見極め、顧客の要望に応じて精緻な加工を実現している。また、様々な素材を常に在庫して顧客に対する素材の提案の実施や、最新鋭の測定器を導入して品質管理能力を高める等、付加価値の向上に取り組み顧客満足度を高めている。



3Dスキャナーによる精緻な加工

最新機器による効率化と自前の治具開発でコストと納期の削減

従業員に対する教育体制を整備し、3次元レーザー加工機や高性能スキャナーなど、最新の機器を使いこなすことを可能にし、作業の無駄を省き作業の効率化を実現した。更にIT導入による図面、デザイン処理をマシニング加工機、3次元レーザー加工機に連動して、自在に加工することにより生産性の向上を図っている。また、自前の治具の開発・製作により、外注に要する日数・コストを削減し、納期の短縮を実現している。



3Dレーザー加工による効率化の実現

幅広い年代層の活躍による技術伝承の実現と地元産業人材育成

定年退職制度がなく20歳代から80歳代まで幅広い年齢の職人が活躍し、技術の伝承を絶やすことなく次世代の社員に教育を施し経験を積ませる体制を整備している。また、社員間の情報共有化を徹底し、全員が一丸となって業務に従事する職場の雰囲気づくりを行い、チームワークを重視した結果、極めて低い離職率を実現している。更に地元である同志社大学のフォーミュラプロジェクトへの資金・部品の提供、溶接などの技術指導、地元高校の自動車学科での講義や機械技術科のインターンシップ受入れなど産業人材育成に貢献している。



鋳金歴50年以上のレジェンド社員の活躍